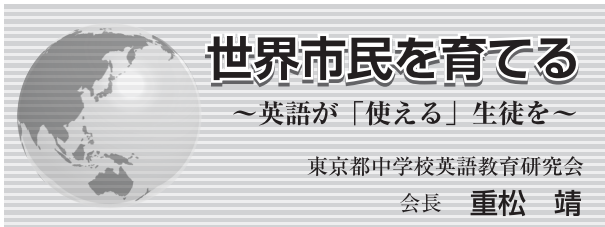


都中英研だより

第 67 号

東京都中学校英語教育研究会
会 長 重 松 靖
(国分寺市立第二中学校長)



昨年 12 月、文部科学省は「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」を公表しました。新たな英語教育の在り方として、中学校では「身近な話題についての理解や簡単な情報交換、表現ができる能力を養う」「授業を英語で行うことを基本とする」とし、CEFR A1～A2 程度（英検 3 級～準 2 級程度）の英語力を目標としています。

さらに、文部科学省は今年 2 月「英語教育の在り方に関する有識者会議」を設置し、同計画の具体化に向け専門的な見地から検討を始めました。都中英研副会長でもある石鍋浩校長も委員の一人として参加していますが、第一回の会議の冒頭、座長の吉田研作上智大学教授は「日本人が世界市民という立場から、世界中の人たちとコミュニケーションしてネゴシエーションしていくという体制を作っていかなければならない」と話し、楽天社長の三木谷浩史委員は英語教育の充実は「日本の死活問題」と言っています。英語教育に対する社会の期待は年々高まる一方であり、私たち英語科教員はその期待に応える責任がある、ということ強く認識させられます。

情報、自分の考え、感想を伝える言語活動を

有識者会議において示された資料を見ると、中学・高校の現状の課題として「文法解説や訳読が中心の指導が多く、相手の意向を理解して自分の考えを分かりやすく伝えるといった活動や 4 技能

を総合的に伸ばす指導が不十分な面が見られる」とあります。

生徒が大きな声で、元気よく英語を発している授業を参観することがあります。一見活発な言語活動をしているように見えますが、ただ文字を音声化しているだけ、教師の後について繰り返しているだけ、というメカニカルなドリルに終わっていることが多々あります。学習指導要領の目標は「コミュニケーション能力の育成」です。そのためにはコミュニケーションを実感できる活動を工夫しなければなりません。「○○○を理解させる」ための言語活動から「○○○を用いて何ができるか」という学習到達度目標の考え方を取り入れた言語活動への転換が必要です。

小・中・高の連携

有識者会議では「中学校において小学校の外国語活動を踏まえた活動が不十分である」という課題も示されました。昨年度の全国学力・学習状況調査によると「英語が好き」と回答した小学生は 76% だそうです。こうした生徒が中学校での英語の授業にスムーズに入れるように、また「好きではない」と回答している 4 人に 1 人の生徒が「英語って意外と面白い」と感じさせるためにも、中学校の教員が小学校外国語活動の内容を十分に知ることが大切です。同様に、中・高の教員がお互いの授業について理解を深め、指導の改善につなげる努力を怠ってはいけないと思います。

都中英研では、こうした課題を踏まえ夏季休業中に 6 本のワークショップを計画しています。2 学期以降 3 回の研究授業と講演会等も行う予定です。奮ってご参加ください。また、各地区での素晴らしい授業実践や取組についても、東京都全体で共有したいと強く思っています。そうした情報も都中英研 HP*、Facebook** 等を通して是非お寄せください。今年一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

* : <http://chueiken-tokyo.org/>** : <https://www.facebook.com/tokyo.chueiken>

平成26年度 都中英研総会

平成26年度の都中英研総会が、5月9日(金)に、豊島区立千登世橋中学校にて開催されました。議事として、平成25年度各部事業報告・決算報告・監査報告があり、その後平成26年度役員選出・行動目標・各部事業計画・予算に関する協議があり、それぞれ全会一致で了承されました。なお、今年度の役員については別表の通りです。また、各部の事業計画についても別掲の通りです。



総会后、記念講演がありました。「これからの中学校英語教育 ～グローバル化に対応した英語教育改革実施計画を受けて～」という演題で、国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官・文部科学省初等教育局教育課程課教科調査官・国際教育課外国語教育推進室教科調査官の平木裕先生よりご講演をいただきました。英語教育改革実施計画を踏まえて、現行の学習指導要領の趣旨から、小学校外国語活動の動向、CAN-DO リストの考え方、中学校英語科教員の英語による授業展開の本意に至るまで、最近の英語教育を取り巻く状況について、文科省の責任者という立場から、とらえるべき視点をご教示いただきました。会場からもいくつかの質問や意見もあり、活発な協議もでき実りある研修となりました。



英語教育改革実施計画を踏まえて、現行の学習指導要領の趣旨から、小学校外国語活動の動向、CAN-DO リストの考え方、中学校英語科教員の英語による授業展開の本意に至るまで、最近の英語教育を取り巻く状況について、文科省の責任者という立場から、とらえるべき視点をご教示いただきました。会場からもいくつかの質問や意見もあり、活発な協議もでき実りある研修となりました。

役員一覧

役職	氏名	所属校	職位
会長	重松 靖	国分寺市立第二中学校	校長
副会長	飯島 光正	豊島区立千登世橋中学校	校長
//	福井 正仁	港区立青山中学校	校長
//	牛島 順子	目黒区立第四中学校	校長
//	石鍋 浩	足立区立蒲原中学校	校長
//	池田 武男	杉並区立高井戸中学校	校長
//	五十嵐 浩子	小平市立小平第一中学校	校長
//	松永 透	連雀学園三鷹市立第一中学校	校長
//	北原 延晃	港区立赤坂中学校	主任教諭
//	惣田 修一	足立区立洲江中学校	校長
//	和田 文宏	大田区立蒲田中学校	校長
総務部長	飯島 光正	豊島区立千登世橋中学校	校長
経理部長	佐藤 玲子	小金井市立東中学校	校長
調査部長	刀根 武史	小金井市立小金井第一中学校	校長
事業部長	横山 達也	八王子市立第七中学校	教諭
研究部長	北原 延晃	港区立赤坂中学校	主任教諭
出版部長	池田 武男	杉並区立高井戸中学校	校長
PT部長	斉藤 節子	清瀬市立清瀬第二中学校	副校長
会計監査	野瀬 博	東三鷹学園三鷹市立第六中学校	校長
//	田谷 至克	墨田区立寺島中学校	校長
//	中島 理智	昭島市立拝島中学校	校長

平成26年度 中英研年間事業計画

総務部

定期総会の運営……………(5月9日)
全英連中学校部会の運営補助……………(6月～7月)
都中英研各地区部長・幹事会の開催……………(8月)
関プロ栃木大会に関する事務
各部事業への運営補助

事業部

定期総会の運営……………(5月9日)
サマーワークショップの開催……………(8月22日)
千代田区立九段中等教育学校
授業力アップ研修会の開催……………(10月)
本年度は区部開催
英語学芸大会の開催……………(12月7日)
豊島区立千登世橋中学校(予定)

調査部

新コミュニケーションテストの企画・運営
参加申込・問題発送・テスト実施……………(4月～5月)
テスト処理……………(5月～6月)
次年度テスト問題作成……………(6月～2月)
ワークショップ……………(8月21日)
千代田区立九段中等教育学校
テスト案内：実施要項配布……………(2月)
問題印刷・録音・参加校募集開始……………(3月)

「新コミュニケーションテスト」今年度実績	
1年生	1898人／16校
2年生	2651人／21校
3年生	2481人／21校

平成26年6月30日現在、採点・返却が未処理の学校もありますが、今年度も多くの学校に参加していただきました。なお、8月21日は、これまで調査部が積み上げてきたノウハウを生かして、テストづくりのワークショップを計画しています。

研究部

研究テーマ「生徒の語りサイズを広げる指導の工夫」
ワークショップの開催
●第1回(8月1日)世田谷区立三宿中学校
●第2回(8月5日)千代田区立九段中等教育学校
●第3回(8月19日)品川区立荏原第六中学校
公開授業及び研究発表会の開催……………(2月24日)
港区立赤坂中学校

出版部

「都中英研だより」第67号発行(7月)
「都中英研だより」第68号発行(12月)
「都中英研会報」第74号発行(3月)
都ホームページの更新補助

プロジェクトチーム部

研修会の開催(8月6日)
清瀬市生涯学習センター「アミュー」
「CAN-DOリストの作成に向けて」部会の開催

経理部

都中英研事業に係る会計事務

研究大会・協議会

▶▶【全英連中学校部会】 7月28日(月)

- 講師：平木 裕 先生（文部科学省 教科調査官）
- 演 題：「中学校におけるコミュニケーション能力の育成」
- 会 場：国立オリンピック記念総合センター

▶▶【地区英語教育研究部長・幹事会】 8月27日(水)

- 講師：永嶋 昌博 先生（足立区学力定着促進課英語教員指導員）
- 講 演：「ICT 機器を活用した英語授業の改善」
- 会 場：豊島区立千登世橋中学校

▶▶【全英連秋田大会】 11月7日(金)～8日(土)

- 会 場：第1日目 秋田県総合公社 秋田県民会館
第2日目 公立大学法人 国際教養大学 (Akita International University)
- 大会コンセプト：「あきた発！未来へつなぐ英語教育～小・中・高・大・産の連携を目指して～」

▶▶【関ブロ栃木大会】 11月14日(金)

- 会 場：栃木県総合文化センター、他
- テーマ：「他者とのつながりの中で、生き生きとコミュニケーションを図ることができる生徒の育成」
－4 技能の総合的な指導を通して－

お知らせ

都中英研では、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）で著名な*Facebook を利用しております。研修会等の最新のお知らせを提供できるばかりか、投稿が可能なので、利用者間相互のコミュニケーションも可能です。ご関心のある方はアカウントを取得して、下記 URL にアクセスしてみてください。

<https://www.facebook.com/tokyo.chueiken>

*Facebook はフェイスブック株式会社の登録商標です。

また、都中英研のホームページもぜひご活用ください。本誌「都中英研だより」や年報である「中英研会報」も閲覧が可能です。ホームページは下記 URL にアクセスしてください。

<http://www.chueiken-tokyo.org/>

編集後記

「都中英研だより 第67号」をお送りいたします。この「だより」は年2回(夏と冬)発行しております。夏号では、都中英研の今年度の事業予定を紹介しております。一方冬号では、年度上半期に行われた研修報告や地区研究会の紹介を記載しております。その他に、都中英研の活動を記録した年報として、「中英研会報」を年度末に発行しております。この「中英研会報」では、都内全地区英語教育研究部からの年間活動報告を毎年頂いており、東京都の各地区の英語教育の動向を知ることができます。今後ともご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本誌に関するお問い合わせ先 >>>>

都中英研出版部長 池田 武男（杉並区立高井戸中学校長）
TEL：03-3302-1962 FAX：03-3302-6873